

往年の北海道を走ったC55形3次形をハイグレード仕様で新発売!!



●C55形の特徴である煙室扉付近のエプロン形状に加え、ヘッドライト(電球色LEDにより点灯)横の補助灯(レンズ入り非点灯)、煙室扉横の高い位置にある標識灯など“北海道仕様”の形態を再現、さらに左右の前面ステップが前梁に移された姿としています。写真はダミーカブラーを装着していますが、交換用に重連運転用アーノルドカブラーと自連形TNカブラーを別途用意、さらにフロントデッキ部の手すり、解放テコ、選択式ナンバープレート(C55 43・47・59)を別パーツで付属しています。



●“北海道仕様”の長いツララ切りを備えた前面の旋回窓、密閉型キャブを再現、屋根上の明かり取りは開閉可能としています。ボイラー側面のハンドレールは金属線を使用し、銅色の空気作用管や複雑な形態の空気冷却管を始めとした各種配管類を立体的、かつ美感的に再現しています。また、別部品によるキャブ前の発電機、金色の安全弁2本とドーム横の汽笛など、リアルな構成としています。



●各部の溶接化が進められ、リベットが無い近代的な外観となったタンダー(炭水車)は、側面と後方の増設枠と共に、埋め込み式となったヘッドライトを再現しています。このヘッドライトは電球色LEDにより点灯し、テールライトは非点灯ながらもレンズを入れて美感的に見せています。解放テコは機関車側と同じく付属の別パーツを取り付け、写真のアーノルドカブラーに代えて使用する、交換用自連形TNカブラーの他、台車間に取り付けるATS車上子も付属します。



●動輪の変形を防ぐため、輪心周りに「水かき」のヒレのような補強が付いた、同形独自のスポーク動輪をリアルに模し、先台車にはスポークを細く、美感的に再現した車輪を用いています。動輪や先輪以外に、シリンダーやピストン棒、クロスヘッド、主連棒、連結棒などの下回りの他、元空気だめ、コンプレッサー、給水ポンプ(写真反対側)などの各部も見応えのあるものとしています。最小通過カーブ半径は280mmです。



国鉄C55形蒸気機関車は、1935(昭和10)年に登場した軸配置2C1(バシフィック)の旅客用機で、1次形(1~19号機)の19両が一気に落成、四国を除く北海道から九州にかけて分散配置され、幹線、亜幹線で使用されました。続いて、各部をカバーで覆った流線形の2次形(20~40号機)が、同年末より翌年にかけて製造され、さらに1937(昭和12)年には普通形に戻された最終タイプの3次形(41~62号機)が新製されました。北海道に配置されたC55形は、キャブ(運転室)を密閉型とし、ヘッドライト横にシールドビームの副灯を取り付けるなどの“北海道仕様”とされて、宗谷本線、函館本線、室蘭本線で活躍しました。各地に配置された62両の同形は、昭和40年代に入ると北海道と九州の一部でしか見られなくなり、同形が所属していた旭川機関区でも、1975(昭和50)年に30号機が廃車となり、道内のC55形はその活躍を終えました。

トミックスでは、C55形をハイグレード仕様でモデル化、北海道を走った3次形をセレクトし、同形を詳細にわたって検討の上、製品に反映しています。このモデルでもフライホイール付きモーターをボイラー内に収め、可能な限りファインスケールに近付けるべく設計、製作しています。なお、本製品の発売と併せ、けん引する車両として、宗谷本線の旅客列車をイメージした客車セットと、道内で使用された貨車のセットを同時にリリース予定です。スポーク動輪を履く最後の新製バシフィック機となったC55形をけん引機に、かつての道内の旅客列車や貨物列車をお楽しみください。

※トミックスの公式サイトでは、C55形の実車ショートストーリーや製品化への裏話などが紹介されています。併せてご覧ください。



C55形

(3次形) 蒸気機関車

国鉄 C55形蒸気機関車(3次形・北海道仕様)
<2010> 予価¥17,600(税込)

2月発売予定

宗谷本線の旅客列車をイメージした客車セット、道内で使用された貨車のセットも発売予定!



北海道で使用された一般客車は、“レッドレイン”こと50系51形の登場以前は旧型客車が運用され、これらは防凍対策として側窓が二重とされていました。製品は宗谷本線の普通列車で使用された旧型客車のマニ60形、スハフ32形、オハ62形、スハ32形、スハフ32形(写真左より)の5両をセットにまとめ、荷物車のマニ60形を除く旅客車4両は二重窓を再現し、マニ60形は電気暖房車をモデル化しています。スハフ32形とマニ60形の車掌室側には、「ON-OFFスイッチ」付きの点灯式テールライトを備え、各車いすれも新集電システム、黒色車輪を使用、またC55形用として、ナンバープレート(C55 49)の他、交換用煙室扉、煙室の回転式火の粉止めのスペシャルパーツを付属しています。

■国鉄 旧形客車(宗谷本線普通列車)セット(5両)
<98413> 予価¥14,520(税込)

2月発売予定

1968(昭和43)年10月ダイヤ改正では、旅客列車の速度向上と併せ、一般の貨物列車の最高速度が65km/hから75km/hに引き上げられました。このスピードアップにあたり、走行安定性を向上させるべく、2輪貨車の台車を2段リンク式にする改造が大々的に行われましたが、改造対象の1段リンク式貨車が多かったことから、対本州への輸送で連絡船を介する北海道と四国では、ダイヤ改正後も65km/hが維持されました。特に北海道では道内のみで運用される未改造の貨車に対して、形式記号の前に小さくカタカナの「ロ」を加え、さらに黄帯と道外禁止の標記が側面に入れられました。製品は1段リンク式の下回りを新たに製作したワム23000形を始めとした有蓋車5両(ワム6951・ワム14970・ワム35421・ワム39634・ワム1925)、無蓋車のトラフ70000形1両(トラフ3825)、冷蔵車のレ12000形1両(レ13231)、車掌車のヨ3500形(ヨ4428)の8両を揃え、ワム1925を除く有蓋車4両は道内専用車の表記を印刷しています。また、ヨ3500形の室内灯、テールライトは点灯式とし、黒色車輪の使用により各車の足回りを引き締めています。

■国鉄 北海道貨物列車(黄帯車)セット(8両)
<98787> 予価¥9,790(税込)

2月発売予定

※掲載内容は2022年12月現在の情報です

トミックス製品情報はトミーテックホームページで...
www.tomytec.co.jp/tomix/

※写真はC55、旧型客車とも試作品のため、製品と異なる部分があります。

タカラトミーグループ

株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10
(株)トミーテック
お客様相談室トミックス係
TEL.03-3695-3161(代)
※月~金曜10~17時/祝・休日を除く